

4 K ・ 8 K 放送に関する周知 ・ 広報計画 (アクションプラン)

平成 2 9 年 1 1 月

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 一般向けの取組・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(1) 4K・8K放送の魅力・視聴方法の周知・・・・・・・・	3
①イベント等を活用した周知	
a) 関係業界全体による4K・8K放送周知イベント	
b) 関係団体が主催するイベント等	
c) 国際的なスポーツ大会等と合わせた周知	
②業界ごとの特徴や強みを活かした周知	
a) 放送事業者等による周知	
b) 家電販売店における周知	
③サービス呼称、ロゴ・マーク及び周知用素材の作成・活用	
(2) BS右旋の帯域再編の周知・・・・・・・・	6
(3) IF漏えい・左旋受信対応・・・・・・・・	7
(4) 4K・8K放送に関する相談対応・・・・・・・・	7
2. 関係業界内の取組・・・・・・・・	9
(1) 4K・8K放送の魅力・視聴方法の周知・・・・・・・・	9
①関係業界内での情報共有	
②家電販売店における周知	
③その他	
(2) BS右旋の帯域再編対応・・・・・・・・	10
(3) IF漏えい・左旋受信対応・・・・・・・・	10
(4) 4K・8K放送に関する相談対応・・・・・・・・	11

はじめに

平成28年(2016年)7月に、放送を巡る諸課題に関する検討会(座長:多賀谷一照 獨協大学法学部教授)において「第一次取りまとめ」が取りまとめられ、4K・8K放送の受信機に関する情報や視聴方法に関する情報について、国と関係事業者、団体等が連携して、周知・広報の具体的な内容・方法等を検討することが必要である旨が示された。

これを受けて、同年9月以降、放送を巡る諸課題に関する検討会の視聴環境分科会(分科会長:新美育文 明治大学法学部教授)において検討が行われ、平成29年(2017年)3月に、今後の4K・8K放送に関する周知・広報の基本的考え方等を定めた「4K・8Kに関する周知・広報戦略」が取りまとめられた。

4K・8K放送の関係団体・事業者及び総務省においては、当該戦略に沿って必要な周知・広報を行うことが期待されているところ、同年4月に、関係者の連携・協力による具体的な取組の推進を目的として、4K・8K放送推進連絡協議会(以下「連絡協議会」という。)を設置した。

「4K・8K放送に関する周知・広報計画(アクションプラン)」は、連絡協議会におけるこれまでの議論等を踏まえ、4K・8K放送の普及・推進に当たっての周知・広報に関し、平成30年(2018年)12月からのBS・東経110度CSによる4K・8K実用放送(以下「実用放送」という。)の開始に向けた具体的な取組を取りまとめたものである。

連絡協議会の構成員をはじめとした関係団体・事業者及び総務省は、今後、本計画に基づき、連携・協力して取り組むこととする。

※ 4K・8K放送に関する周知・広報計画（アクションプラン）における取組の実施主体の表記については、以下の略称等によるものとする。

○団体等の略称

衛放協	(一社) 衛星放送協会
配信機構	(一社) 映像配信高度化機構
家電協	大手家電流通協会
全国電商連	全国電機商業組合連合会
J E I T A	(一社) 電子情報技術産業協会
ケーブル連盟	(一社) 日本ケーブルテレビ連盟
C A T V 技協	(一社) 日本C A T V 技術協会
A-P A B	(一社) 放送サービス高度化推進協会
NHK	日本放送協会

○その他の表記

民間放送事業者	衛星放送事業者（NHKを除く）、 ケーブルテレビ事業者、IPTV事業者
民間放送事業者（衛星）	衛星放送事業者（NHKを除く）
民間放送事業者（ケーブル）	ケーブルテレビ事業者、IPTV事業者

1. 一般向けの取組

(1) 4K・8K放送の魅力・視聴方法の周知

① イベント等を活用した周知

a) 関係業界全体による4K・8K放送の周知イベント

実用放送の開始1年前となる2017年12月1日に、連絡協議会の全構成員を含む関係団体・事業者が参加するセレモニーを開催し、4K・8K放送の普及・推進に向けた関係者の決意を示すとともに、メディアを通じて1年後の実用放送の開始を広く周知・広報する。

- ・ 2017年12月1日に、実用放送開始1年前セレモニーを実施・協力【A-PABを中心に連絡協議会の全構成員】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、4K・8K放送に関するサービス呼称及びロゴ・マークを公表【A-PAB】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、4K・8K放送の周知・広報に関する年間計画を公表【A-PAB】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、「4K・8K放送コールセンター(仮称)」の設置を公表【A-PAB】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、BS右旋の帯域再編に関し計画の概要及び問合せ窓口を公表【A-PAB】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、4K・8K試験放送等の4K・8K映像の上映を実施【A-PABを中心に連絡協議会の関係構成員】
- ・ 実用放送開始1年前セレモニーにおいて、右左旋受信システム、4K・8K試験放送受信用チューナー・STB等を展示【A-PABを中心に連絡協議会の関係構成員】
- ・ 実用放送開始1年前に合わせて、4K・8K放送及び放送分野以外の利活用に関する展示を実施【NHK】
- ・ 4K・8K放送に関する取組の進捗や今後の展開について、セレモニーやメディアを通じて一般の人に情報提供を行い、4K・8K放送に対する関心や機運を高めることを目的に、実用放送開始半年前その他の節目において当該目的に資するイベントを実施・協力【A-PABを中心に連絡協議会の全構成員】

b) 関係団体が主催するイベント等

ケーブルコンベンション、CEATEC JAPAN、Inter BEEその他の関係団体が主催するイベント等において、可能な限り、4K・8Kに関するブースを出展すること等により、4K・8K放送の魅力や視聴方法等の周知・広報を行う。

- ・ 4K・8K放送の周知・広報用ブースを出展【A-PAB、NHK、衛放協、ケーブル連盟、民間放送事業者、JEITA、メーカー】
- ・ 4K・8K試験放送の上映を実施【A-PAB、NHK】
- ・ 右左旋受信システム、4K・8K試験放送受信用チューナー・STB等を展示【A

-P A Bを中心に連絡協議会の関係構成員】

- ・ I F漏えい等に関する周知・広報用パネルを展示【A-P A Bを中心に連絡協議会の関係構成員】
- ・ 4 K・8 K放送の周知・広報用リーフレットを配布【A-P A B】
- ・ 4 K・8 K放送に関する相談等に対応【A-P A Bを中心に連絡協議会の関係構成員】
- ・ 主催するイベント等と連動し、放送の最新動向等に関する講演会を開催【J E I T A】

c) 国際的なスポーツ大会等と合わせた周知

2018年冬季オリンピック・パラリンピックその他の国際的なスポーツ大会と連動した4 K・8 K放送の周知・広報を可能な限り実施するほか、国際的なスポーツ大会に関連したイベント、大型文化系イベント、各地域で開催される一定規模の集客が見込まれるイベント等において、可能な限り、4 K・8 Kに関するブースを設置すること等により、4 K・8 K放送の魅力や視聴方法等の周知・広報を行う。

- ・ 国際的なスポーツ大会の開催期間において、4 K・8 K試験放送で、その関連番組を放送するほか、地上波や衛星波の放送により4 K・8 K放送の魅力や視聴方法等の周知・広報を実施【NHK】
- ・ 国際的なスポーツ大会の開催期間において、ショールーム等の一般の人の来場が見込めるスペースを活用して、4 K・8 K試験放送等の4 K・8 K映像の上映を実施。その際、4 K・8 Kの受信機や受信設備の展示、周知・広報用動画の上映、周知・広報用リーフレットの配布等も実施【ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）、J E I T A、メーカー】
- ・ 国際的なスポーツ大会の開催期間に、家電販売店の店頭（家電量販店約3,200店舗、電器店約15,000店舗（目標））において、4 K・8 K試験放送等の4 K・8 K映像の上映を実施。その際、4 K・8 Kの受信機や受信設備の展示、周知・広報用動画の上映、周知・広報用リーフレットの配布等も実施【家電協、家電量販店、全国電商連、電器店、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 国際的なスポーツ大会の開催期間に、街中等の一般の人が集まる場所において、4 K・8 K試験放送のパブリックビューイングを実施【配信機構】
- ・ 国際的なスポーツ大会の開催期間以外でも、4 K・8 Kに関するイベントを開催し、又は他のイベントの場を活用し、全国において4 K・8 K試験放送等の4 K・8 K映像の上映を実施。その際、4 K・8 Kの受信機や受信設備の展示、周知・広報用動画の上映、周知・広報用リーフレットの配布等も実施【総務省、A-P A B及びNHKを中心に連絡協議会の関係構成員】

②業界ごとの特徴や強みを活かした周知

a) 放送事業者等による周知

業界ごとの特徴や強みを活かした周知・広報の一環として、4K・8K放送の魅力や視聴方法等に関し、放送や、各事業者自身が有する媒体等を通じた周知・広報を行う。その際、放送の時期・内容を合わせる等、関係者の連携を図るとともに、国際的なスポーツ大会、商戦期等において集中的に実施する等、効果的かつ効率的な周知・広報に努める。

- ・ 4K・8K試験放送を通じて4K・8K放送の魅力等の周知・広報を実施【A-P AB、NHK、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 2017年12月から実用放送開始までの間に、4K・8K放送の魅力や視聴方法等を周知・広報するための番組等の放送を実施（具体的な実施方法に関しては、各社の裁量にて決定するとともに、一部の事業者の放送開始時期が異なる点について視聴者に混乱を招かないよう配慮）【NHK、民間放送事業者】
- ・ 2018年9月頃までに同年12月から開始される実用放送の番組編成を発表。その際、効果的・効率的な周知・広報の方法等を検討（具体的な実施方法に関しては、各社の裁量にて決定するとともに、一部の事業者の放送開始時期が異なる点について視聴者に混乱を招かないよう配慮）【NHK、民間放送事業者（衛星）】
- ・ コミュニティチャンネルの番組内において、可能な限り4K放送の周知・広報のためのコーナーを設置【ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 2017年10月から2018年3月までに毎月1回以上、全国各地で4K・8K大画面パブリックビューイングを実施【NHK、配信機構】
- ・ ケーブルテレビ事業者の店舗等において、4K・8K試験放送体験の機会を可能な限り提供【ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 番組ガイド誌等において、可能な限り4K・8K放送に関する周知・広報を実施【衛放協、ケーブル連盟、民間放送事業者】
- ・ ハイブリッドキャストを通じ、可能な限り4K・8K放送の魅力等の周知・広報を実施【NHK】
- ・ 4K・8Kコンテンツの国際共同制作・協力を推進【NHK】
- ・ 防災、医療、美術、サイネージ、教育等、放送以外の分野での4K・8Kの魅力の周知・広報を実施【NHK、配信機構】

b) 家電販売店における周知

業界ごとの特徴や強みを活かした周知・広報の一環として、全国の家電販売店の店頭において、一般の人が4K・8Kの魅力に触れる機会を広く提供するとともに、受信設備や視聴方法等に関する周知・広報を行う。その際、実施の時期・内容を合わせる等、関係者の連携を図るとともに、国際的なスポーツ大会、商戦期等において集中的に実施する等、効果的かつ効率的な周知・広報に努める。

- ・ 2017年10月以降、家電販売店の店頭（家電量販店約3,200店舗、電器店

約15,000店舗（目標）において、4K・8K試験放送等の4K・8K映像の上映を実施【家電協、家電量販店、全国電商連、電器店、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】

- ・ 家電販売店の店頭において、周知・広報用リーフレットの配布や、4K・8K放送に関する相談等に対応【家電協、家電量販店、全国電商連、電器店】
- ・ 実用放送用受信チューナーを内蔵していない4Kテレビ・4K対応テレビを購入した、又は購入する消費者に対し、誤解や混乱が生じないように、実用放送の視聴のためには別途対応チューナーが必要であること等を十分に説明【A-PAB、家電協、家電量販店、全国電商連、電器店】

③サービス呼称、ロゴ・マーク及び周知用素材の作成・活用

4K・8K放送の効果的かつ効率的な周知・広報のため、サービス呼称及びロゴ・マーク等を定めるとともに、周知・広報用素材を作成し、展開する。周知・広報用の素材の作成に当たっては、一般の人が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、右旋、左旋のそれぞれの放送事業者名、4K放送であるか8K放送であるか、既存放送の置き換えではなく、新たに始まる放送であること等を明示する。関係団体・事業者においては、これらを積極的に活用し、統一感のある周知・広報に努める。

- ・ 2017年12月に、4K・8K放送に関するサービス呼称及びロゴ・マークを公表【A-PAB】
- ・ 2017年12月に、4K・8K放送の視聴に必要な情報等を盛り込んだ改訂版の周知・広報用リーフレットを作成し、展開（その後も定期的に改訂を実施）【A-PAB】
- ・ 2018年10月までに、4K・8K放送の周知・広報用プロモーションビデオを作成（一部の事業者の放送開始時期が異なる点について、視聴者に混乱を招かないよう配慮）【衛放協、民間放送事業者（衛星）】
- ・ 2018年9月までに、4K・8K放送の周知・広報用共同ホームページを作成（一部の事業者の放送開始時期が異なる点について、視聴者に混乱を招かないよう配慮）【衛放協、民間放送事業者（衛星）】
- ・ サービス呼称、ロゴ・マーク、周知・広報用リーフレット、周知・広報用動画等を積極的に活用【全構成員】

(2) BS右旋の帯域再編の周知

今後予定されるBS右旋の帯域再編に伴い、一部のテレビ等において再編直後に一時的に番組の視聴ができなくなったり、録画予約に失敗する可能性があるため、帯域再編の実施時期及び対処の方法等について、視聴者に対して事前に十分な周知・広報を行う。具体的な実施方法に関しては、各社の裁量にて決定する。

- ・ 2017年12月に、BS右旋の帯域再編に関する計画を公表【A-PAB】
- ・ 2018年3月までに、BS右旋の帯域再編の周知・広報用素材を作成し、必要

な放送事業者に提供【A-PAB】

- ・ BS右旋の帯域再編に関し、周波数の移行を行う1か月前から、継続的に放送による周知・広報を実施【NHK、民間放送事業者】
- ・ 2017年12月以降、BS右旋の帯域再編に関しホームページを通じた視聴者への事前周知を実施【A-PAB、NHK、衛放協、ケーブル連盟、民間放送事業者】
- ・ 2017年12月以降、BS右旋の帯域再編に関し全国の家電販売店で視聴者からの問合せに対応【家電協、家電量販店、全国電商連、電器店】
- ・ 2017年12月に、視聴者からの問合せ窓口を設置【A-PAB】

(3) IF漏えい・左旋受信対応

左旋による4K・8K放送の受信に伴い、アンテナで受信した信号が宅内の受信設備から外部に漏れて電気通信サービス等に影響を与えることがないように、適切な機器・設備の使用や工事の必要性等について十分な周知・広報を行う。その際、放送の種類に応じた、視聴方法及び必要な受信設備等について、分かりやすい形で周知・広報するよう努める。

- ・ 2017年12月以降、IF漏えいの可能性や対策等について、一般の人に対してホームページ等で周知・広報を実施【A-PAB、JEITA、CATV技協】
- ・ 2017年11月以降、IF漏えい対策工事の円滑な実施に資するため、技術講習会の受講済み工事店のホームページでの紹介等を実施【A-PAB】
- ・ 有料放送契約者に対して、左旋アンテナ等の受信設備の設置・改修が必要な場合、その設置・改修費用の一部を負担すること等により、左旋による4K・8K放送の受信が可能な世帯の増加を図ることを検討【有料放送事業者】

(4) 4K・8K放送に関する相談対応

4K・8K放送に関する正しい知識や受信のための技術相談、BS右旋の帯域再編に係る相談等について、消費者庁、消費者センター等と連携しつつ、関係業界全体で対応する。

- ・ 2017年12月に、4K・8K放送に関する相談対応のため、「4K・8K放送コールセンター（仮称）」を設置【A-PAB】
- ・ 相談窓口等において、一般の人からの相談等に丁寧に対応【全構成員】
- ・ 2017年11月までに、「4K・8K放送コールセンター（仮称）」や関係者設置のコールセンターに入電した苦情・相談のうち、各コールセンターでは対応が難しいものについて、対応することが適当な団体・事業者へ転送可能とするための体制（役割分担・連絡先）を整備【A-PABを中心に全構成員】
- ・ 2017年12月以降、「4K・8K放送コールセンター（仮称）」に入電した苦情・相談の件数・内容を分類し、その概要を関係団体・事業者と共有【A-PAB】
- ・ 2017年12月以降、「4K・8K放送コールセンター（仮称）」に入電した苦情・相談から新たに明らかになった課題について、対応方針を検討・調整し、又は

関係団体・事業者に対処方針の検討を依頼する等、必要な対応が図られるよう措置
【A-PAB】

2. 関係業界内の取組

(1) 4K・8K放送の魅力・視聴方法の周知

①関係業界内での情報共有

効果的かつ効率的な周知・広報を行うため、関係者間の協力体制を整備し、周知・広報に当たって必要な情報を共有する。

- ・ 2018年9月頃に予定される実用放送番組編成の発表に関し関係団体・事業者間で速やかに情報共有【NHK、民間放送事業者】
- ・ 実用放送対応受信機・STBの販売開始に関し関係団体・事業者間で速やかに情報共有【JEITA、メーカー、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ イベント及び店頭における4K・8Kに関する展示等で活用するためのコンテンツを制作【A-PAB、NHK、ケーブル連盟】
- ・ 地域におけるイベントを活用した4K・8K放送の周知・広報に必要な人員、コンテンツ、機器、周知・広報用リーフレット、周知・広報用動画等について提供【A-PAB、NHK、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ BS右旋の帯域再編の具体化、受信機発売計画の発表等の進行状況に合わせて、4K・8K放送の認知度・視聴意向等の放送市場調査を半年に1回以上継続的に実施し、関係団体・事業者間で情報共有【A-PAB】
- ・ 4Kテレビ等の関連機器の国内出荷実績を毎月把握し、関係団体・事業者間で情報共有【JEITA】

②家電販売店における周知

家電販売店の店頭における効果的かつ効率的な周知・広報のため、家電販売店及び放送事業者等の関係者において連携を図り、店頭スタッフの効果的な知識習得に努めるとともに、関係団体等が作成した周知・広報用リーフレット、各種対応マニュアル等を家電販売店等へ提供する。

- ・ 家電販売店の店舗等への4K・8Kコーナーの設置を推進【A-PAB、家電協、全国電商連、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 2017年12月までに、家電販売店の店舗等向けの4K・8K放送に関する周知・広報用リーフレット、周知・広報用動画、eラーニング教材等を作成し、提供【A-PAB】
- ・ 2017年12月から実用放送の開始までに全国で60回程度、4K・8K放送の周知・広報用素材等を用いた店頭スタッフの知識習得のためのセミナーを開催【A-PAB、家電協、全国電商連】
- ・ 各地区ブロック会議等の場を活用し、定期的に情報交換会を開催【A-PAB、家電協、全国電商連】

③その他

- ・ 4K・8K等の高精細映像と立体音響を体験できる大画面の上映施設の整備を推進【配信機構】
- ・ デジタルサイネージにおける4K・8Kの受信設備整備を推進【配信機構】

(2) BS右旋の帯域再編対応

BS右旋の帯域再編の円滑な実施に向けて、関係団体・事業者が連携して必要な対応を実施する。

- ・ BS右旋の帯域再編の計画に合わせて、BS右旋の帯域再編に関するケーブルテレビ加入者への告知計画を策定【ケーブル連盟】
- ・ BS右旋の帯域再編に伴い必要となるヘッドエンド設備等の改修を実施【ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）、CATV技協】
- ・ 家電販売店の店頭スタッフに対し、帯域再編の実施時期、チャンネルの再設定の必要性・方法等の視聴者から問合せの可能性がある事項について丁寧に回答できるよう、情報提供その他の必要な協力を実施【A-PAB、家電協、全国電商連】

(3) IF漏えい・左旋受信対応

左旋受信に伴う中間周波数（IF）の漏えいに関し、国において策定した衛星放送用受信設備に求められる技術基準を踏まえ、当該基準を満たす機器の製造・流通・販売、工事が適切に行われるよう、適切な機器・設備の使用や工事の必要性について、関係業界へ丁寧な周知・広報を行う。また、今後、工事業界において、標準的な工事方法等を検討するとともに、集合住宅の状況に応じた工事費の事例について調査・分析し、マンション管理組合等が工事の実施判断に必要な情報を提供する。

- ・ 2017年11月から2018年3月まで、全国約300カ所で、電器店、電気工事店等の衛星放送用受信設備の施工業界等を対象とした技術講習会を開催し、左旋受信、IF漏えい対策等に関する周知・広報を実施【A-PAB、CATV技協】
- ・ テレビ受信向上委員会が開催する電器店、電気工事店等を対象とした技術セミナーにおいて、左旋受信、IF漏えい対策等に関する周知・広報を実施【A-PAB、NHK、CATV技協、ケーブル連盟、JEITA】
- ・ 2017年11月以降、電器店、電気工事店等と機器・設備の導入に関し連携強化し、マンション管理業界等向けの周知・広報を実施【A-PAB、NHK、CATV技協、ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】
- ・ 全国各地で開催される技術講習会、セミナー等への業界関係者の積極参加を促進【家電協、全国電商連】
- ・ 2017年11月から2018年3月にかけて、工事費に関する事例を含む集合住宅の改修に関する施工マニュアルを検討・策定し、同年4月をめぐりに公表【CATV技協】

(4) 4K・8K放送に関する相談対応

4K・8K放送に関する相談対応等について、関係業界内で情報共有を図る。

- ・ 各団体・事業者が作成し、又は更新する4K・8K放送に関するQ&Aについて、関係団体・事業者と必要に応じて事前調整を行い、共有【全構成員】
- ・ 4K・8K放送に関するQ&Aを更新ごとに家電販売業界、消費生活センター等へ提供【総務省】
- ・ 4K・8K放送の基礎知識及び問い合わせ対応のマニュアルを作成し、関係団体・事業者へ情報提供【ケーブル連盟、民間放送事業者（ケーブル）】